

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年1月29日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年1月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【協力企業作業員のガラスバッジ一時不携帯について】 協力企業作業員がガラスバッジを落としたことに気付かず、現場へ入域。 作業着手前に、ガラスバッジの拾得の連絡を受け、入退域管理棟へ引き返した。 原因は、ガラスバッジ収納袋の蓋が外れやすい状態だったと推定。 今後、不携帯時の線量評価を実施。	G II	1月25日
2	【4号機復水貯蔵タンクの水位低下について】 4号機復水貯蔵タンクで緩やかな水位低下傾向を確認。 当該タンクおよび配管からの漏えいなし。 当該タンク付近のサブドレンピット水のトリチウム濃度に有意な変動なし。 原因調査中。	G II	1月17日
3	【1号機タービン建屋1階通路の油だまりについて】 1号機タービン建屋1階通路の潤滑油ラック前に油だまりを確認。 調査の結果、潤滑油ラック内の潤滑油ペール缶より漏えいを確認。 漏えいしている缶に、潤滑油受け皿を設置。	G III	1月23日